



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第10号 (H22. 6. 11)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 大竹 正純

しつ じつ ごう けん
質実剛健

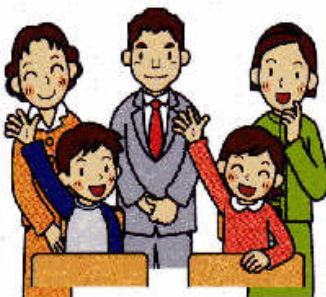
6月 

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」

いい子ほど将来が心配だ！

ある講演会で話されたことを紹介します。(ジャーナリスト押川氏より)

「スポーツ選手は肉体的なけがをするように、勉強をまじめにする子は心のケガをする。心のケガは見えづらい。」押川さんの仕事場に保護者の方が相談のために訪問されるそうですが、そのほとんどが親と子どものふれあいが本気でされていない家庭だそうです。「私に本気でできているのか」と問われるとドキッとしますが、相談に来た子どもも「あのとき親からもう一段階上の『叱り』がほしかった」と言うそうです。もう一段階上というのは「厳しく」という意味だそうです。



これがなかったから弱い人間になったと思っている子どもが多いそうです。子どもは、自分に対してどれくらい親が真剣に対応してくれるかを見ています。スポーツを指導するコーチのように、練習時の子どもの疲れ具合、表情、態度等で子どもを理解しながらも、ある時は厳しく、あるときは優しく接する姿勢が大事であると、見守りながらも、ここぞというときは親として真剣に厳しく子どもに対応することが大切であると言われました。押川先生は、心のケガは「人格のゆがみ」であると言われました。これまでの相談活動の中で、心のケガを負いやすい、つまり「人格のゆがみ」が生じやすい家庭環境はどのような家庭かというところを4つ挙げられました。「一家庭の考えを学校に訴えてくる親(家庭)」「教育に熱心すぎる親(家庭)」「学校や友達の悪口を言う親(家庭)」「子どもの失敗を認めない親(家庭)」であると。親としては、子どものことを思って一生懸命に対応しているのかもしれませんが、子どもにとってはつらい立場に追い込まれることが多くなること。例えば「子どもの失敗を認めない親(家庭)」の場合、子どもは親に気に入られるようと頑張るのですが、親から悪いところを探されることがいやなので、悪いことを隠そうとするようになります。そのため、甘えてみたり、情愛がわいたり、また、自然な親しみやすい親子の親密な関係が築けず、自分から自分の内面を話さないようになります。話したら責められると思うようになります。その不満が鬱積(うっせき)すると爆発します。そのことが親への暴力、弱いものへの残虐な行為に発展します。では、そうならないためにはどうしたらよいか。3つのことを言われました。1つ目は、「さまざまな人がいる環境の中に自分の子どもを入れなさい。そのチャンスは奪ってはいけない」と。「他人の飯を食わせろ」という言葉があるが、自分の思いどおりにならない厳しさを知り、対応する力を身に付けることが、社会に出たときのエネルギーになる。子ども同士は残虐な面もあるが、その体験は心の成長には欠かせない。2つ目に「親は、勉強しなさい、頑張れだけを言うのではなく将来の仕事を見据えてプロデュースすることが大切である」と。成績を上げるためだけに勉強をするのではなく、また、親の好き嫌いの感情で仕事を選択するのではなく、子どもに向いている仕事、子どもがなりたいという仕事などに関連させて、目標を持たせながら勉強させることが必要である。自分の夫の仕事を否定することはもってのほかである。親への感謝の気持ちが育たない。3つ目は、「家族が仲良くすることである」と言われました。押川さんは、さまざまなジャンルの方と面識があるそうですが、企業で求められているのは「精神面の強さ」だそうです。物事に挑戦する力、学ぶ力、責任感など……その精神面を鍛えるためには、部活動などいいと言われました。体育面であろうと文化面であろうと活動することで力がつく。精神面を鍛えるためには、次の3つを心がければよいと言われました。1つ目は、「人のせいにならない。」問題が起きたら自分が悪いと考えて対処する。2つ目は、「人の立場になって考える」そうすると自分の言動の善し悪しが見えてくるし、新たな考えが湧いてくる。3つ目は、「人のために努力する。」人から喜ばれることで自分自身の心が満たされ、また、努力しようと思う。自己中心的な考え方が多い世の中で、他人のことを考えることができる強さと喜びは、私も精神面を強化すると思いました。どうか参考にしてみてください。

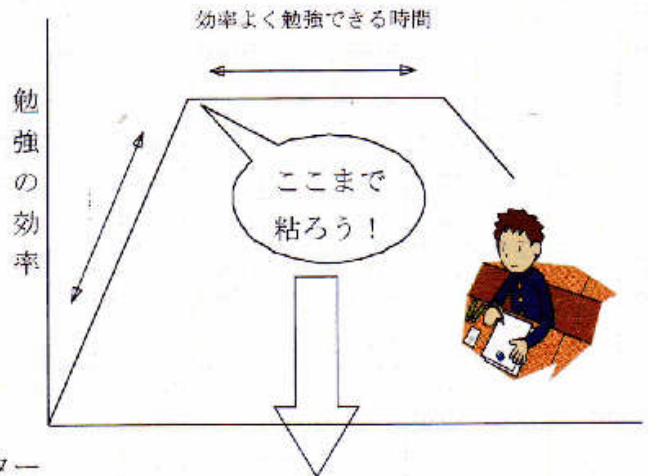
学力を伸ばすために！

□ 学習時間にポイントがある！

＜参考＞ 難関大学合格者の3年間の平均自宅学習時間

	1 学 期	2・3学 期
高校1年	3時間 4分	3時間 14分
高校2年	3時間 25分	3時間 53分
高校3年	4時間 18分	4時間 52分

上記のデータは、ベネッセコーポレーションのデータです。高校生を対象にしたものですが、やはり学年が上がるにつれて勉強時間は増えています。また右図はここまで粘る時間「30分」、ここまで集中してがんばったら、後は1時間～3時間あっという間に時間が過ぎるそうです。だから何が何でも30分は机から離れないという姿勢を作るべきです。附属中の生徒には、宿題に要する時間以外に80分間の自学の時間を設けようと呼びかけています。保護者の皆さま、「泉ヶ丘学習サイクル」ができているでしょうか？家庭でのご確認をお願いします。



30分!!!

附属中生平均学習時間	4時間以上～4人	3時間以上～16人	2時間以上～15人	1時間以上～4人	30分以上～1人
------------	----------	-----------	-----------	----------	----------

特 集

コミュニケーションのとり方③ 「準備」

会社では、取引先の方と商談などで話をし、説得をして、一定の成果を収めようとするときは、単なる思いつきだけの話では成果を期待することはできません。商談に向けた十分な準備や、努力が必要です。

商談に向けた準備段階では、この商談が取引先にとっても良い話である資料を用意するなど話を裏付ける根拠が必要です。

そして、次の段階では、取引先の分析を行い、相手は何を求めているかなどを事前に調査して、具体的な対応策を検討します。

説得することは、コミュニケーションの一つであり勉強に気が向かないお子様を説得することも考えられます。

何故、今このことをする必要があるのか、このことに取り組むことにより、どのような力がつくのかなどについて話をする際には、お子様が分かりやすく受け取れるように、十分な準備をして対応することも重要なことです。

「伸びる人の共通点」

- 1 素直であること
- 2 好奇心旺盛であること
- 3 忍耐力があり、あきらめないこと
- 4 準備を怠らないこと
- 5 几帳面であること
- 6 気配りができること
- 7 夢を持ち、目標を高く設定することができること



県高校総体の結果

- 全国大会出場
 - ・ 少林寺拳法
 - 正ヶ峯舞 (有段者組演武)
 - 田村 彩 1位)
- 九州大会出場
 - ・ 男子ハンドボール (2位)
 - ・ 男子ソフトテニス (7位)
 - 大野・笠牟田ペア
 - ・ 弓道個人：北郷有久 (3位)
 - ・ 水泳部：日高・黒木・田平
柿元・内山・杉元・吉松・遠矢
- 南九州大会出場
 - ・ 陸上：今村航大
 - (三段跳び3位)
 - 川床爽大
 - (走り高跳4位)

□ 女流タイトル最高棋戦「第4期マイナビ女子オープン」
出場：山口絵美 (将棋4段)